

# 利尻島クマゲラ糞中からのアリ類

吉村正志

〒 097-0101 利尻富士町駕泊字栄町

## Ants from Dung of Black Woodpecker in Risiri-Island

Masashi Yoshimura

Sakae-machi, Osidomari, Rishirifuji-cho, Rishiri, Hokkaido, 097-0101 Japan

### 1. はじめに

ここ利尻島は多くの貴重な自然環境を有する地域であり、特に鳥類に関しては年間を通じて非常に多くの種類を目にすることができる。

特別天然記念物にも指定されているキツツキの一種であるクマゲラが生息していることも、このような豊かな環境の裏付けがあつてのことであろう。このクマゲラは一般的に木の中に営巣しているムネアカオオアリ *Camponotus (Camponotus) obscuripes* Mayr を主食としていることが知られているが、ここ利尻島においてクマゲラの食性についての記録はない。

今回この利尻島に生息するクマゲラの食性を調査する目的で、その糞中よりアリ類の未消化部分を分離、種の同定を試みた。その結果、糞中から 1 亜科 2 属 2 種のアリ類を分離同定することに成功。ここにその報告をしたい。

### 2. 方法

#### (1) 糞の採取

クマゲラの糞はまだ春先雪の残る時期に、森林内のクマゲラの比較的新しいと思われる食痕の下の木くずの中より主に採集した。採集地は駕泊甘露泉、杓形森林公園の 2 地点とした。

#### (2) 糞よりの未消化部分の分離

1 回分の糞を水を張ったシャーレ中で分解し、その中で昆虫の体組織と思われる未消化物を分離、70% エタノール中に液浸標本として保存し、同定の際には必要に応じてそれを乾燥標本とした。

#### (3) アリ類の同定

分離された未消化物を手がかりに昨年筆者がまとめた利尻島のアリ類のデータなどを利用しながら同定した。

### 3. 結果

クマゲラの消化管内においてアリ類の腹部などの比較的柔らかい部位はほとんど消化されてしまっていたが、頭部をはじめとした未消化の部位から以下の種が彼らの被捕食者となっていることが予測される。

なお、これらの種は採集地 2 地点でいずれも糞中より分離することができた。

ムネアカオオアリ

*Camponotus (Camponotus) obscuripes* Mayr

ハヤシケアリ

*Lasius (Lasius) hayashi* Yamauchi & Hayashida

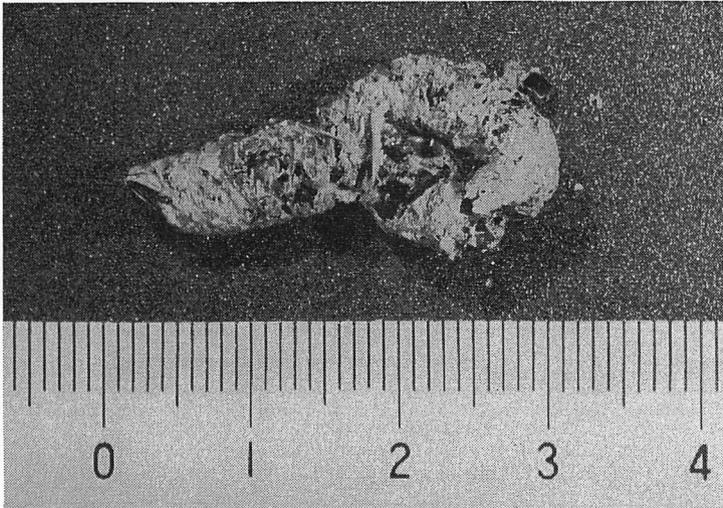


図1 クマゲラの糞

#### 4. 考察

本島においてもやはりクマゲラの主食は、その分離された個体数などから見てもムネアカオオアリ *C. (C.) obscutipes* Mayr であると考えられる。

ただ、わずかながらハヤシケアリ *L. (L.) hayashi* Yamauchi & Hayashida が混ざっていたこと、今回の採集時期が雪解け前の一時期に限られていることから、他のアリ類が活発に活動する時期においてはこれ以外のアリ類の補食の可能性もある。

今後の継続した調査が必要であろう。

#### 5. 参考文献

- 日本蟻類研究会編、1989. 日本産アリ類の検索と解説 (I) ハリアリ亜科、クビレハリアリ亜科、クシフタフシアリ亜科、サスライアリ亜科、ムカシアリ亜科. pp42
- 日本蟻類研究会編、1991.. 日本産アリ類の検索と解説 (II) カタアリ亜科、ヤマアリ亜科. pp56
- 日本蟻類研究会 (アリ類データベース作成グループ)、1998. 日本産アリ類カラー画像データベース (CD-ROM)